

● 麦わら帽子(放課後等デイサービス)



「将来の夢と自分という存在」

「将来の夢は何になりたい?」と職員が児童に尋ねると「工事現場の現場監督になりたい」「パティシエになりたい」あるいは「何をしたいのか決まっていない」と答えます。佐々木正美先生の著書「子どもの心の育て方」

の中の一節に「将来の希望が、自分の個性、能力、適性などに合わせて、年齢相応に明確になっていく。」とあります。今麦わらぼうしに来る児童は小学1年生から6年生の学童期の子供です。学童期は心を育てていく時間でもあります。「とても足が速いね!」「上手な絵を描いているね!絵を描く仕事に就いたらいいかもね!」など自己肯定感を伸ばし、児童の特技や興味・関心のある物に目を向けて「私、絵を褒められたから、そういう仕事に就いたらいいかも!」「僕、足が速いって言われたから陸上選手になってみたいな。」と自分の特技・強みに気が付き、今後の将来について少しでも考える事が出来れば良いなと思っています。「自分」という存在を大事にし、これから大きく成長してくれる事を職員一同心から願っています。

指導員 星崎 悠成

● エデンの園(障がい者支援施設)

私達、ハイビスカス班はリメイク缶といって、空き缶を再利用した、とってもオシャレな缶を作っています。利用者さんが得意な工程をみんなで分担し、楽しみながら創作活動に取り組んでいます。そうして出来上がったリメイク缶は棚に飾るもよし、ペン立て、植木鉢、小物入れと色々な使い方が出来ます。そうして出来上がったリメイク缶は、みんなの思いが詰まった世界に一つだけの素敵なリメイク缶なのです。今後のハイビスカス班の活動にご期待ください!!

生活支援員 小野 淳司



「知恵ある者とさせられて」

エデンの園創立40周年記念式典祝辞

宮崎清水町教会主任牧師 山口 英希

この度は、エデンの園創立40周年おめでとうございます。私はこの春より宮崎清水町教会主任牧師に就任し、エデンの園では第4土曜日の土曜学校でボランティアをさせていただいている山口と申します。このような祝辞という機会を与えていただいたことを、心より感謝いたします。

40年という節目は、世代交代の象徴とも言えるでしょう。建てた者の意志を受け取り、繋いでいく時です。初代「共に生きる会」会長として多くの協力者と共にエデンの園を建てられた宮本美雄さんはクリスチャンでしたから、建物を建てると同時に、天国を地上に建てたいと思ったはずで。

創設当時の時代が見ていた重複障がいの方々について、宮本初代会長はこのように記しています。「当時、このように重複して障害を受けている人々や、重い障害を持つ若い人たちは、就学免除や就学猶予の届を出して、義務教育からも切り捨てられ、納屋の隅や、切りこたつの中に、あるいは座敷牢の中に入れられては、世間から隠されていました」。この文章を受けて、現在の廣瀬施設長は7年前の文章にこのように記しています。「共に生きる会」の原点は、社会の無理解と制度の未成熟のために就学できず、社会と切り離されることの多かった障害児者と宮本会長夫妻との出会いであり、加えて自らも視覚障害者となった宮本会長の辛酸をなめた経験と、キリストに出会い、生きる喜びと人生の意味を与えられた経験を一人でも多くの人と分かち合いたいという使命でした」。

創設以来、利用者だけでなく、そのご家族、そして職員とどれだけの方々が聖書の言葉に触れてきたことかと思えますと、感動しています。私自身、土曜学校の度に神様は生きておられると実感します。それぞれ個性ある表情で歓迎して下さる利用者の方々、祈って下さる利用者、聖書を読んで下さる利用者、讃美歌のためにピアノを覚え弾かれる職員、聖書の言葉に応答する職員。神様がその真ん中にいて、生きる喜びの雰囲気満たして下さいます。このような素晴らしい働きができるのは、共に生きる会、その役割を7年前より継承されたエデンの園が積み重ねてこられた務めの賜物ですが、同時に時代の理解、格別に国富町のご理解ご協力のお陰だということをお忘れではありません。

障がいによる知恵遅れ、不自由、これらは外面に過ぎません。聖書の言葉を紹介させていただきます。

主を畏れることは知恵の初め。(箴言1章7節)

私たちを愛しておられる神様を、その聖書の言葉を通して知ることこそ、最大の知恵だと教えています。神様を知るためには、障がいは障害とならないと信じます。私たちには、すべての利用者の方々と共に神の愛に生きるためにできることは何かと、探求心を持ち続けていくことが必要です。

「難しいことが有る」と書いて「有難い」と感じるのです。困難を共に味わい、乗り越えていくところに、もはや堂々と隠す必要のないこととして、共に生きることへの感謝と喜びがさらに継承されていくことを信じます。

最後に、エデンの園はじめ、ふれあい、グループホーム、相談支援事業所、麦わらぼうし、つおぎと拡大されてきた尊いお働きが、共に助け合うキリストのからだとして益々発展していきますようにと、天国がさらに実現していきますようにと、神様の祝福を心よりお祈り申し上げます。

アート作品



コーナー

様々なアート作品を紹介するコーナーです。今回はエデンの園の「陶芸作品」を紹介します。



●井谷容子さん「お皿」●



●丸山ゆみさん「鬼の洗濯岩」●



●山口美智子さん「葉っぱ模様」●



●湊雄大さん「湯呑」●



●渡邊知己さん「土」●

